2023年5月、ヒグマの襲撃による、釣り人の死 亡事故が起きました。 悲しい、事故が今後起きな いよう願い、朱鞠内湖ルールを作りました。

少しでも ヒグマ事故を防ぐために





命とフィールドを守る対策

湖の釣りでは森を背に釣りに集中しているので、ヒグマへの注意 も薄れ、また釣り上げた魚や匂いに興味を持つ動物もいることから それらの注意も払わないといけない。釣り人同士、適切な距離でお 互いに死角となる背後の確認をしあい、釣れた時のネットインや魚 の撮影なども、協力していただくようお願いいたします。釣り人同 士、コミニケーションがもっとも重要であり、互いに注意を払いま しょう。

○ 釣りの単独行動は原則禁止

- ・前浜、キャンプ場以外は単独行動は原則禁止。
- ・ボート釣りの場合も他のボート釣り人と一緒に行動。
- ・ヒグマが接近することを想定して、すぐに集まれる距離。

○ 下記装備品の携行必須 (※はレンタルあり)

- ・スマートフォン(緊急連絡、GPSアプリによる所在確認用)
- 能給※
- ・撃退スプレー※
- ・防犯ベル・ホイッスル等※(トラブル発生時の救難用)
- ・ライフジャケット※
- ・発煙筒※(トラブル発生時の救難用)

○ 手荷物管理の徹底

・持ち物は常に携帯するか、手の届く範囲で常に 確認できるところに置いておくこと。

○ 各社の携帯エリア内の範囲での釣行

・常に外部との連絡が取れる状態で行動して下さい。

○食料の管理

- ・前浜、キャンプ場以外は調理(カップラーメン等含む)はしない で下さい。(食べかす、残り汁など捨てて匂いを残す行為もある為)
- ・食べ物は匂いの出ない工夫と、頑丈なものに入れて下さい。
- ・食料や食べ残し等をバック等に入れておいてください。 (バックにぶら下げたレジ袋は、野生動物に奪われています)



○ 魚が釣れた時

・岸に匂いを残さないために、水の中でリリースもしくはキャッチする。 キープする魚は食料と同様、匂いの出ない様にし、動物に持って行かれ ないようにして下さい。

○ リリース失敗

魚はスタッフにお渡し下さい。試験研究機関に提供します。

○ 危険予知、情報提供

- ※以下のものを見つけた場合はその場から離れて、情報提供して下さい。
- ○魚や動物の死骸 ○ヒグマの目撃や足跡.糞など
- ※また、釣り場で持ち物を忘れた場合や無くなった場合も同様にスタッフ に伝えるようにして下さい。

NG行動

- 背を向けて走って逃げる
- 大きな音を出す(ホイッスルを鳴らすなど)
- 荷物を置いて逃げる



知床財団

もしも出会って しまったら

TSURIV (準備中)

スタッフや釣り人による 釣り場のヒグマ情報

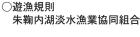
iPhone

Android



幌加内町





【発行者】

○朱鞠内湖ルール 朱鞠内湖水難対策協議会 幌加内町 幌加内町観光協会

NPO法人シュマリナイ湖ワールドセンター 朱鞠内湖淡水漁業協同組合

識した行動をお願いします。

【協力】

公益財団法人知床財団 NPO法人もりねっと北海道

緊急連絡先

(0165)38-2470(漁協)

(0165)38-2101(キャンプ)

(0165)38-2029(レーク)

(0165)38-2158(汽船)

(0165)38-2110(朱鞠内駐在所)

(0165)23-0110(士別警察署)



シュマリナイ湖 ワールドセンター